

議員全員協議会会議録

令和7年8月18日

宮 古 市 議 会

令和7年8月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(8月18日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のための出席者	2
議会事務局出席者	2
開 会	4
説明事項(1)	4
散 会	9

宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時

令和7年8月18日（月曜日） 午前9時30分

場 所

議事堂 議場

○

事 件

〔説明事項〕

（１）令和7年度県要望について

出席議員（22名）

1番	佐々木真琴君	2番	畠山智章君
3番	水木高志君	4番	山崎高広君
5番	佐藤和美君	6番	古舘博君
7番	中嶋勝司君	8番	今村正君
9番	白石雅一君	10番	木村誠君
11番	西村昭二君	12番	小島直也君
13番	鳥居晋君	14番	伊藤清君
15番	高橋秀正君	16番	工藤小百合君
17番	長門孝則君	18番	落合久三君
19番	松本尚美君	20番	田中尚君
21番	竹花邦彦君	22番	橋本久夫君

欠席議員（0名）

なし



説明のための出席者

説明事項（1）

市長	中村尚道君	副市長	多田康君
教育長	伊藤晃二君	総務部長	箱石剛君
企画部長	岩間健君	エネルギー・環境部長	木村剛君
市民生活部長	西村泰弘君	保健福祉部長	三田地環君
保健医療推進監	菊池廣君	商工労働観光部長	小成勝則君
農林水産部長	飛澤寛一君	都市整備部長	去石一良君
危機管理監	芳賀直樹君	上下水道部長	川原栄司君
会計管理者	菅野和巳君	教育部長	田代明博君
企画課長	久保田英明君	副主幹兼企画創生係長	竹田真吾君



議会事務局出席者

事務局長	三上巧	次長	刈屋巧
------	-----	----	-----

主 査 吉 田 奈 々



開 会

午前 9時30分 開会

○議長（橋本久夫君）

おはようございます。

ただいまから議員全員協議会を開会いたします。

ただいままでの出席は20名でございます。会議は成立しております。本日の案件は、説明事項1件となります。

○

<説明事項>（1）令和7年度県要望について

○議長（橋本久夫君）

それでは、説明事項の1、令和7年度県要望について説明を願います。

中村市長。

○市長（中村尚道君）

おはようございます。

令和7年度における岩手県に対する要望につきましては、7月14日に開催されました議員全員協議会においてご説明させていただきました。その後、各常任委員会での検討を経て、ご意見をちょうだいしたところです。本日お示しする要望書案につきましては、ちょうだいしたご意見を踏まえてまとめさせていただきました。本日は、その内容を説明させていただきます。なお、内容につきましては、企画部より説明させていただきます。

○議長（橋本久夫君）

久保田企画課長。

○企画課長（久保田英明君）

それでは私のほうから、令和7年度県要望について市議会からのご意見を踏まえての…。

○議長（橋本久夫君）

着座で。

○企画課長（久保田英明君）

ご意見を踏まえての修正案をご説明させていただきます。

初めに、議員全員協議会説明資料、令和7年度県要望についてと書かれた資料をご覧ください。表紙をめくっていただき、2ページをご覧ください。1の要望日程ですが、9月1日月曜日の16時30分から17時30分を予定しております。会場は宮古港フェリーターミナル3階会議室、当日の出席予定者は記載のとおりでございます。

それでは、要望書案について説明いたしますので、二つ目のファイル、資料1をご覧ください。前回ご説明いたしました内容から修正や変更を加えました部分についてのみ、ご説明をいたします。表紙、その次のページ、市長と議長連名の要望書。その次のページ、要望項目の表のページをめくっていただきまして、要望書の本文をご覧ください。なお、議会からのご意見を踏まえて修正した部分を赤字の下線、市が修正した部分を網かけで表示しております。また編集の都合上、これから説明に使用します要望書案と、別添の最終案とのページ番号にずれが生じておりますので、ご了承ください。

それでは3ページをご覧ください。

3、災害に強いまちづくりの推進についての（1）河川の適切な維持管理についてでございます。要望項目の1について、委員会の意見にございます市議会からのご意見を踏まえ、一部文言を修正の上、追加をいたしまし

た。

4ページをご覧ください。

(2) 砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業及び治山事業の促進についてでございます。委員会の意見に記載がありますとおり、要望項目の5として、山口川上流に新たな砂防ダムの整備を追記するようご意見を頂きましたが、市の対応、理由に記載いたしましたとおり、山口川の土砂災害警戒区域内には、採択要件を満たす公共施設や住戸数がなく、砂防事業に限らない対策を講じる必要があることから、要望項目二つ目の要対策地区に山口地区を追加するよう修正をしております。

5ページをご覧ください。

(3) 浸水対策事業の推進についてでございます。委員会の意見に記載がありますとおり、要望項目の2について、道路雨水排水ポンプの設置を追記するようご意見を頂きましたが、市の対応、理由に記載いたしましたとおり、当該地区への雨水排水ポンプの設置は県が行うべき冠水対策に当たらず、地域全体の内水対策として、市が主体的に検討・実施すべきものと考えられることから、原文のままいたしました。

次に、19ページをご覧ください。

10、医療福祉の充実についての(1) 県立宮古病院の医師の確保等についてでございます。こちらは市議会からのご意見はございませんでしたが、市の対応、理由に記載いたしましたとおり、県立宮古病院における医師、看護師の確保のため、環境改善を図る必要があることから、要望事項4から6を追加するものでございます。

次に、28ページをご覧ください。

12、国に対する要望の強化についての(15) 不登校児童生徒への学習活動の機会の確保についてでございます。ページをめくっていただきまして、委員会の意見に記載がありますとおり、文言の追記に関するご意見を頂きましたが、市の対応、理由に記載いたしましたとおり、本市が独自支援に取り組んでいることについて、要望文に明記するよう修正をいたしました。以上が、市議会のご意見を踏まえ、修正等をさせていただきました内容でございます。私からの説明は以上でございます。

○議長（橋本久夫君）

説明が終わりました。この件について何か質問があれば、挙手を願います。よろしいですか。

田中尚君。

○20番（田中 尚君）

今のご説明を頂きました中で、ちょっとこれは以前からの要望項目でもあるし、どこかに県の対応の文書があったように記憶してるんでちょっと確認しかねたんですが、ページでいきますと20ページです。20ページの(3) リハビリテーションセンターのサテライト施設の設置についての要望であります。これずっとこういう形の要望しておるんですが、現時点で、このリハビリテーションセンターのサテライト施設の位置づけについては、これは宮古市が要望する前に、県がむしろ打ち出した政策課題だと私は受け止めているんですが、当局もそういう認識でございますでしょうか。県がやるって言った事業だということを指摘しております。

○議長（橋本久夫君）

多田副市長。

○副市長（多田 康君）

このリハビリテーションセンターのサテライトについては、前回の知事選のときに、知事がマニフェストで明記したものというふうにご覧いただけますので、その事業化について市が改めて問うというような要望内容にな

ってございます。

○議長（橋本久夫君）

田中尚君。

○20番（田中 尚君）

今副市長のお答え頂いたとおり、私もそういう認識であります。問題は県の対応でありますけれども、要するにこの要望についての言わば県の実現に向けてのこの評価はですね、これちょっと私の事前の調査不足って言えば申し訳ない話になるんですが、去年、そしておとしもたしか要望したように記憶してるんですが、今回もまた要望ということでありますが、現時点では、これ要望することによってどのような感触が見通しているのかですね、そういう点についてもしおありでしたらお答え頂ければいいなと思っての質問であります。

○議長（橋本久夫君）

菊池保健医療推進監。

○保健医療推進監（菊池 廣君）

田中議員おっしゃるとおり、この項目2年ほど前から出しております。県のほうに、その都度、この要望項目以外にも、伺ったときにいろいろな機会を持ってこのサテライトスタジオについての計画というのを聞き出そうとしてるんですが、なかなか進んでいないというような実情がございますので、改めて、今回の要望でも強くお願いしたいと思っておりました。

○議長（橋本久夫君）

田中尚君。

○20番（田中 尚君）

実はこの整備にも関わることだという受け止めを私はしておりますけれども、県は医療再編計画を打ち出しております。私が気になるのは、各県立病院の位置づけなんですよ。これは岩手日報の報道でありますけども、例えば区分として、従来の宮古病院は、地域におけるがんの拠点病院施設って位置づけだったと私は記憶をしております。今回それがどうなったかといいますと今リハビリセンターの話をしておりますけれども、宮古病院を県医療局がどう考えているのかということなんですね。これは私の受け止めなんですけども、例えばどういうふうな分類になってるかといいますと、確かに高度専門医療の基幹病院という位置づけではあるんですが、ここにはですね、ケアミックス連携強化ということで、宮古病院が県のほうの計画として位置づけられております。ここに、今年度予算要望で医師確保、看護師確保のためにですね、県立病院で様々な施設の整備を図ろうということなんですけども、そういうことを整備をして本当に医者とか看護師が集まるのかなという私は疑問があります。よく言われるようにですね、病院は、ドクターで集まると言われております。いわゆるこの医療だったら看板ドクターがいるかないかでですね、全国からの有能な医者が集まってくるというふうに考えますと、この県の対応ですよ。ケアミックス連携強化ということで、釜石、宮古、久慈、二戸、四つの県立病院をここに入れちゃったんですね。これは県のね、文字どおり次の整備に向かう県の医療局の考え方、言葉を変えますと、言わば達増知事の政策判断だと、私はそういうふうに受け止めているんですよ。そうしますとね、リハビリのサブ施設のサの字もなければ、そもそもこのケアミックス連携強化という実績自体がね、私の理解ですよ、聞いている話では、宮古病院、宮古医療圏のがん患者の方々は、盛岡に行きなさいということがたまことしやかに聞こえてくるんですよ。理由は簡単です。1時間足らずでもう行けるようになる。盛岡宮古横断道の整備が進めばですね、1時間で行っちゃう。これはちょっと私はですね、盛岡と比べるとですね非常なやっぱり地域格差を生み出している。盛岡なんか医療

の充足100%を超えてますからね。岩手医大、大手の病院がいっぱいあるんですよ。県の医療局は何を言ってるかといいますと、公立病院、これは、民間の医療機関がないところに、県が肩代わりをする形で整備をします。これはずっと県の医療局の整備の基本なんですよ。私はこれはですね、非常にある意味不公平を目指してると思うんですよ。全国の中でも岩手県は、県立病院の多い県だということで知られておりますけれども、多い中で、医師の充足数は、沖縄と並んで全国最下位であります。ここで大変苦労してるわけでありまして、そこに今回要望の出ました、こういう、例えばですよ、県立病院の老朽化した設備の改修を計画的に行う。これは本来でありますと、予算をとったと聞いておりますが、なかなかうまくいかなくてですね、取りあえずは雨漏りの補修を抑える、そういうふうな対応に追われているというふうに聞いております。看護師の確保につきましては、応援を頂くと。具体的には、大槌病院、あるいは釜石からですね、看護師さんの応援を頂いているというのは今の状況なんですよ。そういう中で、今回新たに4から6までの具体的に宮古病院の在り方に関する要望が出ておりますけれども、今現在、県立宮古病院があったところにはですね、ごめん、以前の病院があったところには、確か医師公舎もあります、空いております。医師の職員のアパートもあります。充足率は確認しておりますが、そこに今回、県立宮古病院に勤務する職員が居住する合同公舎の整備を図るとありますけれども、これは具体的には、宮古市とすればですね、ここにつくってほしいという要望をしていくつもりがあるのかどうか伺います。

○議長（橋本久夫君）

菊池保健医療推進監。

○保健医療推進監（菊池 廣君）

はい、委員ご承知のとおり、今の県立病院、宮古病院の裏というか山手のほうに官舎がございます。そちらも宮古病院の建設当時からあるものでございまして30年たっているということで、そちらのほうを整備、改修工事を進めていくという部分もございます。確かに和見町のほうにもございまして、今年度聞くところによると老朽化した部分は取壊しをするという話を伺っております。その後の合同公舎の、そういった改修については、どの部分がどの場所がいいのかというのは、宮古病院の主体で勤務の関係を考えれば、病院の後ろのほうのところが一番何かあったときに、先生が駆けつけるのにいいということもございまして、それは今後の検討項目だとは認識しております。ただ、ご承知のとおり、令和6年に改修工事の公告をしましたところ、全然応募がなかったというところで、そこから部分的にいろいろな改修工事のまとめてじゃなく取り分けをして、できるところからやろうというようなところで進んでいるようでございますが、いずれ、先生方からいろいろ、これを直してほしいあれも直してほしいというような要望がございましたようなので、そういったのを含めて、今回のこういった要望になっております。

○議長（橋本久夫君）

田中尚君。

○20番（田中 尚君）

最後になりますけれども高齢化社会が指摘されているもとの、例えばうちのほうの住民からの声でありますけれども、今、日頃のご自身の健康を維持するために、県立病院に行くときにですね、足がないということで結局はタクシーで行くとですね、往復で2,400円かかると。片道1,200円ちょっとだと聞いております。中には、取りあえずはタクシーで行くんだけど帰りは自力で来ると。つまり懐具合が、とてもそんな感じですね1回きりで済むもんじゃないので、という声も届いております。そうしますと、やっぱり私たち考えてみますと、宮古病院があそこに移る段階で相当議論した記憶があるんですけれども、非常にそこは余り言いませんが、宮古病院

のなんだろう、利用する市民の側から見ると、余計な交通費っていったら怒られるかもしれませんが、過大な住民負担がですね、窓口の医療負担以外に、交通費っていう形でかかっているというのはですね、これはどうなんでしょうか、やっぱり、確かに病院があるのはいいんだけど、一方においては宮古病院に対する地域の住民の皆さん方の信頼度は、余り芳しくないというのが私の理解であります。以前から指摘されておりますけども、旧宮古市民のほとんどはもう初めから盛岡に行くと。多少高いお金を払っても、初めから中央病院、岩手医大、あるいは友愛病院、こういったところに、あるいは個人病院含めてですね、そういう実態は以前から指摘されておりました。旧宮古市以外の岩泉町、田野畑村周辺の方々が、山田も含めて、宮古病院を利用してるってことは、大分前から言われていることなんですけどもね。これをやっぱり私はですね突破することが大事ではないのかなというふうな問題意識があったので、あえて伺ったわけですが、私はそういう問題をね、しっかりと今後の県の予算要望の中で、県は県立病院の再編計画を発表しました。このケアミックスっていう位置づけ自体が果たしてどうなるのかということについては、私の想像の域を出ないので、これが地域住民の皆さん方の信頼をさらに損ねるようなことにならないようですね、要望して終わります。

○議長（橋本久夫君）

そのほか。

落合久三君。

○18番（落合久三君）

災害に強いまちづくりの推進の（２）、砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業及び治山事業の促進についての中に、議会のほうからは算用数字の２、災害が多数発生したっていうところに、市の当局のほうは山口というのを網かけて、ここで追加をします。議会の要望は山口川の上流部に砂防ダムを整備することということだったんですが、そこまでは踏み込まないで、２のようにした理由が書いてあります。土砂災害区域内にある公共施設や多数の住居の保全を目的としたものであるが、この山口川の区域には、採択要件を満たす公共施設や住宅数がありませんというふうに断定しているんですが、我々が、議会のほうが要望したのは山口川の上流っていう表現ですが、どこにっていうような、かなり住民の要望では出ていると思うんですが、私の理解ではこの住民の皆さんもこちらに砂防ダム古くなってるんで、新しくしてほしいっていう箇所から、災害が起きた、越流したり、土砂が大量に流れたりするっていうのは下流のことを想定していると思うんですが、当局の判断している区域内に条件を満たす公共施設の住宅戸数がないっていうのは、どこからどこまでの範囲を想定して、満たす条件、公共施設と住宅がないと言い切ったのか、そこをちょっと説明してほしいです。

○議長（橋本久夫君）

去石都市整備部長。

○都市整備部長（去石一良君）

この区域っていうものは通常の砂防事業につきましては、土砂災害危険区域、イエローゾーンであったり、レッドゾーンであったり、県のほうで指定している区域がございます。その区域内に公共施設であったり、住戸数が50戸以上ある場合にはその区域の被害を防止するためにですね、ダムの設置が可能になるという状況ですが、山口川の本線沿いの指定されている危険区域っていうのは、上流部でいけば宮園団地のちょうど下のほうといいますか、その部分にはあるんですが、ほとんどかかっている部分が道路でございまして、そこには住戸がございませんので、そういったところからこの砂防事業で採択をされるという要件は、ちょっと山口川には存在しない状況にございますので、ダムによらず、様々な可能なですね、対策を講じていただきたいということで、地区として、

山口というものを追加させていただいたところでございます。

○議長（橋本久夫君）

落合久三君。

○18番（落合久三君）

何となく分かったんですが、既存の県が整備した砂防ダムの中で、今部長が説明してくれたように、設置した箇所から下何メートルっていうのはなかったと思うんですが、50戸以上の住居がないっていう説明だったんですが、そういう50戸以上住居がないところでも、砂防ダム設置されているんじゃないですか。本当にないですか。全部50戸以上で、災害警戒区域っていうのはイエローゾーンとレッドゾーン二つありますよね。何年か前の、白浜、あそこはレッドゾーンだったと私は理解してるんですが、あそこにしたって50戸はないんじゃないですかという素朴な疑問があるんで、今言った質問してるんですが、もう一度。50戸っていうのは今聞いて分かったんですが、それだってどこからどこまでの間の50戸なのかっていうのが問題になるような気がするんですが。

○議長（橋本久夫君）

去石都市整備部長。

○都市整備部長（去石一良君）

確かに今、現存している砂防ダムといいますか、ダムはですね、周辺に50戸ないところもありますが、一つは治山ダムというものもございします。通常の砂防ダムの基準は、このような条件ですが、例えば災害が起きて、被害が現に起きた場合には緊急砂防事業というものもございします。そういうものでつくる場合にはこういった要件は大分緩和されてきておりますので、例えば平成28年に川井地区、新里地区で大きな豪雨がありましたけども台風がありましたけども、その際に緊急砂防事業でですね、ダムは確か4か所だったか5か所設置しております。ただ今回の要望については、被害があったらやってくださいっていう要望ではなく被害を防止するための要望でございしますので、まずはその採択要件に合うか合わないかっていう判断をした上でですね、採択要件をちょっと満たすことがちょっと難しいということで、地区の山口をっていうことで考えたところでございします。区域はどこまでかっていうものについては現に指定されている災害危険区域の範囲がございします。ハザードマップにその範囲が示されてますけども、色が塗られている部分に対象施設があるかないかという部分で、通常の砂防ダムの採択要件はそこで判断することになります。

○議長（橋本久夫君）

そのほかございませんか。

はい。質問はないようですので、これで質疑を終わります。

説明員は退席をしてください。

〔説明員退席〕

○議長（橋本久夫君）

予定していた事項は全て終了いたしました。

その他に移ります。皆さんから何かございますでしょうか。

ないようでございますので、これをもちまして議員全員協議会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午前 9時57分 閉会

○

宮古市議会議長 橋 本 久 夫